ソプラノ　**中村 真由子** Mayuko Nakamura

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。同大学主催、卒業公演「こうもり」ロザリンデ役として出演。各種演奏会や、オペラ「魔笛」侍女２役、音楽劇「廓に風が」遊女 玲花役に出演。これまでに水谷映美、松波千津子の各氏に師事。豊田オペラグルッポ会員、豊田音楽家協会会員、豊田ミュージックアカデミー声楽講師。

ソプラノ　**伊藤 舞子** Maiko Ito

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、国立音楽大学音楽学部声楽専修卒業。同大学主催の定期演奏会出演。第61回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第3位。第27回日本クラシック音楽コンクール名古屋本選一位通過、全国大会出場。イタリアにてレッスンを受講、京都フランス音楽アカデミーマスタークラスなどで研鑽を積む。オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、「メサイア」ソリストを務める。またコンクール審査員を務めるなど活動の場を広げている。

ソプラノ　**田中 真理奈** Marina Tanaka

滝高等学校、愛知県立芸術大学音楽学部音楽科声楽専攻卒業。卒業後、中学校教諭として教鞭を執りつつ、平成26年度よりいわくら少年少女合唱団を指導し、後進の育成に励む。ナゴヤ作曲フェス「音楽現在進行形」に歌い手として出演。これまでに荻野砂和子、中巻寛子の各氏に師事。

※今回の公演には出演いたしません

メゾソプラノ　**近藤 加奈子** Kanako Kondo

名古屋大学教育学部附属高等学校、名古屋芸術大学卒業。同大学卒業演奏会、オペラ「小さな魔笛」侍女役で出演。卒業後、ミュージカル「海の向こうに」、エウロリリカ主催「カルメン」メルセデス役、アド・フォンテス主催「廓に風が」雪江役。名古屋オペラ協会「森は生きている」3月の精役で出演。大阪国際音楽コンクール・東京国際音楽コンクール入選。声楽を松波千津子氏に師事。現在、名古屋経済大学教育保育学科非常勤講師。名古屋オペラ協会準会員。

メゾソプラノ　**矢野 華子** Hanako Yano

石川県金沢市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。2013年金沢フレッシュコンサートオーディション合格、金沢フレッシュコンサートに出演。オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』『森は生きている』『ヘンゼルとグレーテル』などに出演。オペラだけでなく、未就学児向けのコンサートや、合唱団花集庵にて合唱なども積極的に行っている。これまでに大西真澄、寺谷千枝子、戸山俊樹、三輪陽子の各氏に師事。

テノール　**片山 博貴** Hiroki Katayama

多治見西高校音楽科、愛知県立芸術大学卒業、同大学大学院修了。これまでにオペラ「子どもと魔法」「フィガロの結婚」「こうもり」「ポッペアの戴冠」「椿姫」などミュージカルでは「櫻堂ものがたり」「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」に出演。また「ヨハネ受難曲」「真夜中のミサ」をはじめとする宗教曲や第九などのテノールソロを務める。東海地方を中心に幅広い音楽活動を展開している。羽渕朋之、末吉利行、永田峰雄、各氏に師事。

テノール　**木村 一輝** Kazuki Kimura

総合芸術カンパニーTeatro蒼代表。これまでに数々のオペラやミュージカル作品に主要キャストにて出演。2018年11月に上演されたミュージカル《覇王の子》に織田信忠役として出演し、「名古屋市民芸術祭」にて特別賞を受賞。音楽舞台以外にもストレート芝居やラジオドラマへの出演など活動は多岐にわたる。レジェンド家康公天下泰平組（武将隊）において服部半蔵正成としても活動している。

バリトン　**重左 竜二** Ryuji Juusa

可児市生まれ。幼少よりピアノを習い高校から音楽科へと進学する。岐阜県立加納高等学校音楽科（ピアノ専攻）卒業。その後声楽に転向、愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。現在はバリトン歌手、伴奏ピアニストとしてオペラや様々なコンサートに出演している。また第九、モーツァルトのミサやレクイエム、メサイア、天地創造などのソリストを務める。

ピアノ　**池原 陽子** Yoko Ikehara

愛知県立芸術大学卒業。ハンガリー国立リスト音楽院留学。富山県新人演奏会にて富山県知事賞、北日本新聞音楽奨励賞受賞。福光IOX-AROSA声楽サマーセミナーにて08年優秀賞、09年最優秀賞受賞(ピアノ伴奏)。各地の声楽マスタークラス等で伴奏者として活躍。ピアノを薄井豊美、山崎道子、故・水野紀子、G.ナードル各氏に、日本歌曲伴奏法を塚田佳男氏に師事。

監修（編曲、歌唱指導）

中村 貴志

Takashi Nakamura

ブログ「音楽の日々」
http://black.ap.teacup.com/nakataka/

今までにセントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、ベートーヴェン・オーケストラ・ボン（ドイツ）、シンフォニエッタ・ベオグラード（セルビア）、バロックオーケストラ・マリア・プライン（オーストリア）などを指揮。また、著名指揮者の下で多数の合唱指揮を務め、その手腕は高く評価されている。海外においてはドイツ、スイス、セルビア、オーストリアで指揮活動を展開、いずれも好評を博した。一方、作編曲家としても活躍。作曲を担当したラジオ・ミュージカル『本能寺が燃える』がギャラクシー賞ラジオ部門奨励賞とJFN賞企画部門大賞を受賞。近年は大阪交響楽団の委嘱作品や瑞浪市市制60周年記念の創作ミュージカルを作曲。編曲は多岐に渡り、南こうせつや安藤裕子、福原美穂、藤澤ノリマサなどJ-POPのオーケストラ編曲も手掛けた。